

議会運営委員会

3月2日及び3月21日に開会された同委員会の概要についてお知らせします。

【3月2日】

3月6日に開会する第1回定例会の議事運営について審議しました。

会期は6月9日までの4日間とし、議事日程などを決定しました。

委員から提起された反問権について検討することを確認しました。

【3月8日】

予算審査特別委員会に付託された案件の審議が終了したことから、会期を繰り上げ、8日をもって終了とすることを決定しました。

総務 産業 常任委員会

1月20日及び2月21日に開会された同委員会の概要についてお知らせします。

【1月20日】

地域政策課関係

◎観光振興策として埼玉県



方面の旅行代理店廻り、修学旅行の受け入れのための各学校、道央圏の旅行代理店に資料の送付による案内をしている。との担当者から報告がありました。また、函館市に東北地方から避難している子どもたちを奥尻島に招き、スキーを楽しんでもらう「スノーパースキーin 奥尻」として2月5日に開催する。

さらに島の自然を活かした「自然体験プログラム」を作成しており、観光客を誘致に結びつけたい。との報告がありました。委員から防災教育の研修を受け入れる体制にふさわしい防災の整備を求める意見、新幹線開業に向けての渡島・檜山管内の連携に向けての準備に入るべきだとの意見が出されました。

◎自然エネルギーの開発について

知事の発言から地域新

エネルギー導入推進体制整備事業のプロジェクトチームが結成された。従来の地熱、風力の調査報告に基づき檜山振興局内で奥尻島にふさわしい新エネルギーの報告が提出されることになった。と報告がありました。

委員から新エネルギー導入による町の負担、バイオマスなどの開発による雇用の確保について意見が出されました。

町側から導人による町の負担が伴うものです。太陽光、風力について試算がされており採算性が課題になる。との回答がありました。

教育委員会関係

◎小中学校の統廃合の検討の推移について報告があり、青苗小学校の体育館は平成24年度に設計委託、平成25年に着工するが、平成26年度の夏休み前の完成の予定。奥尻小

学校は宮津小学校に平成26年度に統合する。平成24年に宮津小の教室の増築をし、平成25年に完成させる。中学校の統合については小学校の統合後に検討に入る。との報告がありました。

委員から統合後の跡地の活用、スクールバスの適切な運行、中学校の統合については、奥尻高校の活用のために、町立高校への移管も検討課題になる、などの意見がありました



【2月21日】

水産農林課関係

◎町議会として初となる道の水産技術普及所と養殖事業の現状と課題についての意見交換を行いました。

出席した吉田所長からナマコは1百グラムから1百50グラムが産卵にもっとも適した成育状況にあること、現在の価格がキロ6千6百円から3千円以下になっていることから放流技術の向上が資源回復への足がかりになる。

イワガキについては2千個程度は漁獲可能かと思う。小型のものの発生については今後の調査が必要。ニシンについてはDNAの関係で上ノ国町のを放流することになる。マダラのブランド化については今後の漁家の経営体の問題だ。などについての意見が交わされました。

◎3月15日に木質バイオ

マスの講演とパネルディスカッションが開催されるとの報告がありました。

住民課関係

◎4月からの介護保険料についての基準額について、従来の2千8百円を基金取り崩して維持することにしたので、3月議会に条例案を提案する、との報告がありました。

議員研修会

2月7日に厚沢部町で榎山町村議会議長会主催による議員研修会が開かれ、議員8名が参加しました。

明星大学経済学部教授の関満博氏による『東日本大震災後の地域産業振興』、そして、北海道大学観光学高等研究センター長の石森

秀三氏による『観光は本当に地域の未来を拓くか』と題した講演が行なわれました。

また、閉会に当たっては、榎山町村議会議長会副会長でもある麓議長が閉会の挨拶をしました。



議会は町政と皆さんの茶の間をつなぐパイプです。

議会を傍聴しませんか!

手続きは簡単

傍聴者名簿に住所、氏名を記入するだけです。

☆☆☆☆☆

次の定例会は6月です。☆☆☆☆☆